

第十七回

こども六斎教室成果発表会

日時 令和2年1月26日(日)
12:30~16:00(12:00 開場)
会場 京都市立西院小学校 講堂
京都市右京区西院春日町 3-1
TEL 075-312-3993

主催 京都こども六斎教室連絡会
共催 京都六斎念仏保存団体連合会
後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会
公益財団法人祇神会
公益社団法人全日本郷土芸能協会

ごあいさつ

京都こども六斎教室連絡会

代表 藤田加代

まず始めに、子供たちの練習を献身的に支え続けてくださっている多くの関係者に、心から御礼を申し上げます。子供たちには、この六斎が、〈たくさんの方々とのつながりの中で今がある〉という事を学ばせ、〈人々の気持ちに思いを馳せ、感謝の心を持って日々の練習に取り組む〉ように伝えていきます。今年、出演する子供の数が最多になりました。六斎を練習する子どもが増え続けているということは、保護者を含めまして、伝統文化に対する見識が広がり高まっている証ではないでしょうか。特に、六斎は口伝で、伝承されてきた芸です。先輩の口唱歌や、演技の所作、立ち居振る舞いに至るまで、聴いて見て、そして真似て覚えます。お手本になる憧れの先輩がいて、後輩が自ら育っていくのです。

17回目の発表会を迎えて、こども六斎教室は伝統芸を伝承していく後継者を育てるという目的は勿論の事、社会教育の一端も担いながら一步一步を進めております。

微々たる歩みではありますが、本日、舞台上で繰り広げられる子供たちの真剣な演技に免じて、今後とも、深いご理解と温かい支えを宜しくお願い申し上げます。

共催のことば

京都六斎念仏保存団体連合会

会長 秋田吉博

六斎念仏は宗教的な行事から始まり約1000年の歴史を有し、近畿地方を中心に全国各地に伝承されてきました。その中で、京都の六斎念仏は本来の宗教色を残しながらも江戸時代中期には当時流行の芸能を多数取り入れ大衆性豊かなものへと発展してまいりました。そして昭和初期には、夏の夜に清水寺、東寺などで多くの団体がその技を競い合い京都独自の芸能六斎が隆盛を極めた時期がありました。そんな歴史の中で本日9団体の小学生たちにより日頃の練習成果を発表していただきます。後継者不足が叫ばれて久しい中、地域の伝統芸能に興味を持ち、伝承されてきた技を学び合うことは六斎連合会としても大変心強いものを感じます。京都の伝統文化を守ると同時に情操教育の一助として、こころ豊かな地域社会の創造と青少年の健全な育成に微力ながらお役に立てる事を大変うれしく思います。

結びに、この日を迎えるにあたり日々ご尽力いただきました学校関係者、保護者、指導者の皆様に厚く御礼申し上げます。

プログラム

<第1部> 四つ太鼓の競演 【9団体】

参加教室	代表	指導団体	
1. 伏見桃山子ども六斎会	・藤田加代	・京都中堂寺六斎会	・ 33名
2. 嵯峨野子ども六斎	・北村定敬	・嵯峨野六斎念仏保存会	・ 10名
3. 大藪六斎クラブ	・平井二郎	・久世六斎保存会	・ 21名
4. 吉祥院子ども六斎教室	・木村俊典	・吉祥院六斎保存会	・ 15名
5. 朱雀六斎キッズ教室	・清水玲子	・壬生六斎念仏講中	・ 18名
6. 西院こども六斎教室	・山口良知	・西院六斎念仏保存会	・ 35名
7. 光徳こども六斎教室	・渡邊暁仁	・京都中堂寺六斎会	・ 36名
8. 上鳥羽六斎ジュニア	・川勝義弘	・壬生六斎念仏講中	・ 25名
9. 久世六斎クラブ	・北川龍彦	・久世六斎保存会	・ 70名

—休憩— (10分間)

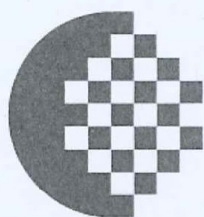
<第2部>

10. 「祇園囃子」・「獅子と土蜘蛛」	朱雀六斎キッズ教室	・ 15分
11. 「猿回し」・「越後獅子」	伏見桃山子ども六斎会	・ 10分
12. 「獅子と蜘蛛」	西院こども六斎教室	・ 10分
13. 「わらべ」・「月輪」	上鳥羽六斎ジュニア	・ 8分
14. 「時雨」	嵯峨野子ども六斎	・ 7分
15. 「獅子と土蜘蛛」	久世六斎クラブ	・ 10分
16. 「さらし」・「祇園囃子」	光徳こども六斎教室	・ 13分

※都合により、演目に変更される場合があります。ご了解ください。



吉祥院子ども六斎教室



文化庁

Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

令和元年度伝統文化親子教室事業

雅楽用・神社仏閣宗教用
郷土芸能用太鼓打ち物

創業元禄初年

大笹屋 松浦 義廣

京都市左京区聖護院蓮華藏町3 6
TEL 075-751-6889 FAX 075-751-7304
E-mail m@ozasaya.com